

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



### 社会福祉法人 小羊学園

〒431-1304

静岡県浜松市北区細江町中川7440-1

電話：053-437-0826 FAX：053-437-0849

E-mail kohitsuji@imix.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人

印刷所：聖隷サービス(有)

定 価：一部 30 円

2008年5月20日

第 303 号

#### 混声合唱組曲

### 「この子らを光に」

理事長 稲松 義人

今年の初め頃だったでしょうか、浜松市を拠点にして活動しておられる合唱団美樹から、定期演奏会で自主制作作品、混声合唱組曲「この子らを光に」の初演することになったので、知的障がい福祉の関係者を招待したいという案内を受けました。三月に小羊学園にも招待券を送っていただき、先日の土曜日の午後、浜松福祉交流センターのホールで開催された、合唱団美樹の第十九回定期演奏会に利用者と職員合わせて十数名で出かけました。

会場には、浜松市内の小規模作業所や他の障がい者施設のメンバー、手をつなぐ育成会関係のご家族など、私たちも顔見知りの人たちも大勢来場しておられ、またとない交流の機会になりました。以前には、福祉施設が合同で開催した発表会やスポーツ大会があり、多くの人たちが一堂に会することはありましたが、市民レベルでこれだけの仲間が顔を合わせることはこれまであまりなかったように思います。

「この子らを光に」というタイトルは、戦後の我が国の知的障害福祉の原点となった滋賀県立近江学園の創立者、故糸賀一雄氏の「この子らを世の光に」

という言葉から取られており、これは、人間としての尊厳に根ざして知的障がい福祉を推進していくための基本理念となった言葉です。

全七曲で構成された組曲のうち一曲は、浜松こども園という療育施設の関係のわいわい青年学級のメンバーもステージに登場し、合唱団と一緒に演奏されました。昨年からの熱心に練習を重ねてこられたとのことで、堂々と精一杯歌う青年たちの姿に、会場からは一段と大きな拍手がありました。

合唱を通じて集められた市民団体が、知的ハンディのある人たちの「命」に着目して自主作品として制作し、演奏活動を通じて、まさしく「ともに生きる場」を演出してくださいました。福祉を仕事にしている私たちのような立場や、当事者団体ではないところから、このような企画が生まれたことは、とても貴重なことだと思いました。合唱団美樹の皆さんはこれまでも、自然環境の問題をテーマに「この星は僕らの星だ」、浜松大空襲（平和）をテーマに「八月の青い空」、人間の命と愛の尊さをテーマに「生きる」という合唱組曲を創作して来られたとのことで、音楽活動を超えて社会的な意識の高さに心から感動を覚えました。

「この子ら」という表現は、前述の故糸賀一雄氏の言葉としてよく知られています。小羊学園の創立者、故山浦俊治先生の三冊の著書のタイトルも

「この子らは光を異にす」「この子らからの贈り物」「この子らに愛を教えられて」でした。「この子ら」とは、知的障がいのある「この子ら」と考えることもできませんが、ともに生活を重ねた人たちにとっては、「障がいのある子ども」ではなく、自分たちのそばに「この子ら」なのではないかと思えます。別の言い方をすると、毎日の「この子ら」との関わりの中で、「この子ら」の中に「光」を感じるのです。「光」は私たちを照らしてくれる存在であり、「希望」と言い換えることができるのではないのでしょうか。障がいがあってもなくても、子どもたちの命の豊かさが感じられる生活の中に、未来へと続く「希望」があるのだらうと思えます。「この子ら」とともに未来への希望があるのだと思えます。

世界に目を向けると、今も多くの子どもたちが、病気や飢餓や戦争のために命を失い、あるいは命を脅かされている現実を知らされます。日本においても、大人たちの都合で作られた社会の中で、子どもたちの生活環境は決して明るいものではありません。

「この子らを光に」というタイトルは今の日本の社会のテーマのように思われます。それぞれが生かされている場において、皆さんも一緒にステージに立って、声を合わせていただけるよう私たちも「つ の ぶ え」を吹き続けたいと思っています。

## 二〇〇七年度事業報告 にあたって

理事長 稲松 義人

「大きく時代の波がうねる中、法人としての今後の事業展開の舵取りについて、新しい体制について検討を重ねてきた。次の世代への継承を意識しつつ、法人全体で連携と協力をもって、果敢に航海を続けていかなければならないと感じている。」

これは私が一年前に書いた「二〇〇六年度の事業報告にあたって」の最後の一文である。

その後、小羊学園（児童寮・青年寮）の移転新築事業に国庫補助の内示をいただいたが、実施設計が進む中で建築費が予想外に大きく膨らむことが判明した。可能なところは設計を見直し入札に臨んだがそれも思いどおりには行かなかった。しかし、資金計画を精一杯見直しその範囲を超えないことを目標に交渉を重ねて何とか着工にこぎつけた。

年度後半からはそれを踏まえて、機関紙つのおえの紙面等で訴えて特別募金をはじめた。それに多くの方が応えてくださり協力の輪が広がっていることに心から感謝したい。しかし、資金の不足額は大きく今も予断を許さぬ状況に変わりのない。皆で力を合わせてこの局面を乗り切っていかなければなら

### 施設利用者数

	児童寮	青年寮	わかぎ	つばさ静岡	デイケア	マルカート	オリーブ	温心寮	ひまわり
入所利用定員	30	30	50	60	—	—	—	6	6
通所利用定員	—	—	—	(15)	20	20	20	—	—
利用率	94.5%	97.3%	96.0%	98.9% (90.7%)	95.4%	81.9%	93.7%	95.8%	97.0%
短期入所利用者延人数	352	588	851	2191	-	-	-	-	-
日中一時支援利用者延人数	1,174	352	410	259	-	-	-	-	-

利用率＝{(一年間の延利用者数)÷(利用定員×開所日数)×100}%

ないが、この決断への歴史的な評価は今後一〇年、二〇年が経過したときになされるのかも知れない。  
法人全体に関わる課題について、執行役員会で協議して取り組むかたちが定着しつつある。法人事務センターへの事務の集約化、ホームページの開設、ロゴマークの作成など、表面的な部分ではかたちになってきたところもある。

しかし、それぞれが事業の責任（実務）をもちながら、複雑に入り組む多くの課題について、法人として進むべき方向性を効率よく議論し、進むべき方向を確認し、明確に責任分担をして執行していくところまでは、まだまだいたっていないと感じている。  
各施設での実践においては、制度的な不合理を感じることも多々あるが、できる範囲で地域のニーズに精一杯応えべく、通所事業の充実、短期入所（日中一時支援）、相談事業に取り組んできた。つばさ静岡の開設から二年半だが、すでに重症児者へのサービス量の不足が大きな課題となっているし、

特に児童期の在宅生活を支えることについては家庭自身の問題も含めて社会的に根の深い課題だと感じている。自分たちだけでは解決できない問題について、浜松においても静岡においても、それぞれの地域の実情をあわせて連携・協力のあり方を意識し、地域との交流行事、他団体と協力してシンポジウム等の開催などに取り組むことができたのは嬉しく思っている。  
今後は、社会福祉法人小羊学園が一つの組織であるという理解が、実際に福祉事業の最先端を担う一般職員にまで定着できるかどうか大きな鍵であると思っている。

## 1. 財産目録

流動資産	595,202,335
現金預金	323,351,279
未収金	268,917,606
貯蔵品	409,751
立替金	2,130,847
仮払金	0
前払金	392,852
固定資産	3,101,619,936
(1)基本財産	2,748,463,641
土地	1,717,598,057
建物	1,030,865,584
(2)その他の固定資産	353,156,295
土地	114,219,518
建物	34,856,744
構築物	11,501,544
機械及び装置	106,365
車両運搬具	19,767,828
器具及び備品	64,694,001
建物仮勘定	26,147,200
投資有価証券	0
措置費施設繰越特定預金	2,000,000
施設・設備整備積立金積立額	62,500,000
退職共済預け金	15,074,970
その他の固定資産	2,288,125
資産合計	3,696,822,271
流動負債	167,112,807
未払金	89,361,235
預かり金	77,735,372
前受け金	16,200
仮受金	0
固定負債	1,157,659,846
設備資金借入金	1,121,054,876
	21,530,000
退職給与引当金	15,074,970
負債合計	1,324,772,653
差引純資産	2,372,049,618

### 2. 貸借対照表

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	595,202,335	452,646,638	142,555,697	流動負債	167,112,807	150,276,954	16,835,853
現金預金	323,351,279	180,973,908	142,377,371	短期運営資金借入金	0	50,500,000	-50,500,000
未収金	268,917,606	215,877,778	53,039,828	未払金	89,361,235	79,040,247	10,320,988
貯蔵品	409,751	298,051	111,700	預り金	77,735,372	19,431,971	58,303,401
立替金	2,130,847	2,508,835	-377,988	前受金	16,200	1,153,912	-1,137,712
前払金	392,852	2,488,066	-2,095,214	仮受金	0	150,824	-150,824
短期貸付金	0	50,500,000	-50,500,000	固定負債	1,157,659,846	1,189,327,110	-31,667,264
固定資産	3,101,619,936	3,151,761,990	-50,142,054	長期設備資金借入金	1,121,054,876	1,162,613,708	-41,558,832
基本財産	2,748,463,641	2,820,386,943	-71,923,302	長期運営資金借入金	21,530,000	0	21,530,000
建物	1,717,598,057	1,789,521,359	-71,923,302	退職給付引当金	15,074,970	26,713,402	-11,638,432
土地	1,030,865,584	1,030,865,584	0	負債の部合計	1,324,772,653	1,339,604,064	-14,831,411
その他の固定資産	353,156,295	331,375,047	21,781,248	純資産の部			
建物	34,856,744	13,659,211	21,197,533	基本金	146,442,534	96,442,534	50,000,000
構築物	11,501,544	11,355,416	146,128	基本金	146,442,534	96,442,534	50,000,000
機械及び装置	106,365	132,956	-26,591	国庫補助金等特別積立金	1,136,398,649	1,168,216,595	-31,817,946
車両運搬具	19,767,828	22,890,441	-3,122,613	国庫補助金等特別積立金	1,136,398,649	1,168,216,595	-31,817,946
器具及び備品	64,694,001	69,161,370	-4,467,369	その他の積立金	64,500,000	172,500,000	-108,000,000
土地	114,219,518	8,613,876	105,605,642	その他の積立金	64,500,000	172,500,000	-108,000,000
建設仮勘定	26,147,200	4,200,000	21,947,200	次期繰越活動収支差額	1,024,708,435	827,645,435	197,063,000
投資有価証券	0	1,500,000	-1,500,000	次期繰越活動収支差額	1,024,708,435	827,645,435	197,063,000
措置施設繰越特定預金	2,000,000	2,000,000	0	(うち当期活動収支差額)	89,063,000	-991,440,380	1,080,503,380
施設・設備等積立預金	62,500,000	170,500,000	-108,000,000	純資産の部合計	2,372,049,618	2,264,804,564	107,245,054
退職共済預け金	15,074,970	26,713,402	-11,638,432				
その他の固定資産	2,288,125	648,375	1,639,750				
資産の部合計	3,696,822,271	3,604,408,628	92,413,643	負債及び純資産の部合計	3,696,822,271	3,604,408,628	92,413,643

脚 注

- 1. 減価償却累計額 649,560,980 円
- 2. 徴収不能引当金 0 円
- 3. 移行時特別積立金預金の積立 0 円

### 3. 資金収支計算書(一般会計)

勘定科目	予 算	決 算	差 異
収入			
自立支援費等収入	790,563,000	792,932,741	-2,369,741
利用料収入	2,500,000	2,085,700	414,300
措置費収入	16,508,420	16,617,074	-108,654
保険診療収入	436,100,000	430,796,531	5,303,469
補助事業等収入	51,826,000	51,762,481	63,519
経常経費補助金収入	45,870,000	45,685,790	184,210
寄附金収入	37,402,000	38,952,552	-1,550,552
雑収入	24,320,000	24,383,156	-63,156
借入金利息補助金収入	4,800,082	4,800,082	0
受取利息配当金収入	621,396	701,523	-80,127
会計単位間繰入金収入	740,000	739,154	846
経理区分間繰入金収入	99,709,000	101,426,562	-1,717,562
経常収入計(1)	1,510,959,898	1,510,883,346	76,552
支出			
人件費支出	960,492,200	956,363,315	4,128,885
事務費支出	154,783,377	150,178,057	4,605,320
事業費支出	205,670,000	201,313,705	4,356,295
借入金利息支出	5,619,000	5,604,036	14,964
経理区分間繰入金支出	101,427,000	101,426,562	438
経常支出計(2)	1,427,991,577	1,414,885,675	13,105,902
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	82,968,321	95,997,671	-13,029,350
施設整備等補助金収入	24,630,000	25,130,000	-500,000
施設整備等寄附金収入	50,000,000	50,200,000	-200,000
施設整備等収入計(4)	74,630,000	75,330,000	-700,000
固定資産取得支出	168,718,000	165,970,411	2,747,589
施設整備等支出計(5)	168,718,000	165,970,411	2,747,589
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-94,088,000	-90,640,411	-3,447,589
借入金収入	28,000,000	28,000,000	0
投資有価証券売却収入	7,500,000	9,000,000	-1,500,000
借入金元金償還補助金収入	18,000,000	18,000,000	0
積立預金取崩収入	120,000,000	120,000,000	0
その他の収入	7,425,300	7,985,740	-560,440
財務収入計(7)	180,925,300	182,985,740	-2,060,440
借入金元金償還金支出	48,030,000	48,028,832	1,168
積立預金積立支出	12,000,000	12,000,000	0
その他の支出	2,708,000	2,594,324	113,676
財務支出計(8)	62,738,000	62,623,156	114,844
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	118,187,300	120,362,584	-2,175,284
予備費(10)	4,005,000	0	4,005,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	103,062,621	125,719,844	-22,657,223
前期末支払資金残高(12)	302,369,684	302,369,684	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	405,432,305	428,089,528	-22,657,223

### 4. 事業活動収支計算書(一般会計)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増 減
収入			
自立支援費等収入	792,932,741	0	792,932,741
利用料収入	2,085,700	641,508,505	-639,422,805
措置費収入	16,617,074	307,516,192	-290,899,118
保険診療収入	430,796,531	782,652,788	-351,856,257
補助事業等収入	51,762,481	0	51,762,481
経常経費補助金収入	45,685,790	88,806,956	-43,121,166
寄附金収入	38,952,552	22,626,302	16,326,250
雑収入	24,383,786	27,052,456	-2,668,670
借入金元金償還補助金収入	18,000,000	18,000,000	0
引当金戻入収入	14,493,580	2,291,539	12,202,041
国庫補助金等特別積立金取崩額	54,407,532	78,586,382	-24,178,850
事業活動収入計(1)	1,490,117,767	1,969,041,120	-478,923,353
支出			
人件費支出	956,363,315	1,557,609,050	-601,245,735
事務費支出	150,178,687	233,863,415	-83,684,728
事業費支出	201,313,705	273,178,527	-71,864,822
減価償却費	93,628,294	138,005,958	-44,377,664
徴収不能額	0	1,010,827	-1,010,827
引当金繰入	2,855,148	4,565,688	-1,710,540
事業活動支出計(2)	1,404,339,149	2,208,233,465	-803,894,316
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	85,778,618	-239,192,345	324,970,963
借入金利息補助金収入	4,800,082	1,033,615	3,766,467
受取利息配当金収入	701,523	221,697	479,826
会計単位間繰入金収入	739,154	0	739,154
経理区分間繰入金収入	105,626,562	288,471,035	-182,844,473
投資有価証券売却益(売却収入)	7,500,000	0	7,500,000
事業活動外収入計(4)	119,367,321	289,726,347	-170,359,026
借入金利息支出	5,604,036	4,683,876	920,160
経理区分間繰入金支出	105,626,562	288,471,035	-182,844,473
雑損失	13,668,787	683,432	12,985,355
事業活動外支出計(5)	124,899,385	293,838,343	-168,938,958
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	-5,532,064	-4,111,996	-1,420,068
経常収支差額(7)=(3)+(6)	80,246,554	-243,304,341	323,550,895
施設整備等補助金収入	25,130,000	7,784,400	17,345,600
施設整備等寄附金収入	50,200,000	18,000,000	32,200,000
国庫補助金等特別積立金取崩額	1,097,688	0	1,097,688
その他の特別収入	8,201,771	350,508,305	-342,306,534
特別収入計(8)	84,629,459	376,292,705	-291,663,246
基本金組入額	50,000,000	78,437,927	-28,437,927
国庫補助金等特別積立金積立額	23,331,151	6,051,000	17,280,151
固定資産売却損・処分損(売却原価)	2,125,739	402,254	1,723,485
その他の特別損失	356,123	1,039,537,563	-1,039,181,440
特別支出計(9)	75,813,013	1,124,428,744	-1,048,615,731
特別収支差額(10)=(8)-(9)	8,816,446	-748,136,039	756,952,485
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	89,063,000	-991,440,380	1,080,503,380
前期繰越活動収支差額(12)	827,645,435	1,865,582,263	-1,037,936,828
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	916,708,435	874,141,883	42,566,552
基本金取崩額(14)	0	60,437,927	-60,437,927
基本金組入額(15)	0	0	0
その他の積立金取崩額(16)	120,000,000	26,065,625	93,934,375
その他の積立金積立額(17)	12,000,000	133,000,000	-121,000,000
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	1,024,708,435	827,645,435	197,063,000



小羊学園児童寮と青年寮の移転の日が近づいてきました。今回の前面改築にあたっては、老朽化した児童寮の建物の更新ということももちろん大きな課題でしたが、暮らしの場としての居住施設の見直しということが私たちの考え続けてきた大きなテーマでした。新しい施設「三方原スクエア」では、地域で暮らしていくための拠点施設としての役割が担えるようにということを考えています。

小羊学園では開園のときから、何らかの理由で家族と生活できない子どもたちをお預かりするのだから、できるだけ「家庭的な雰囲気」でありたいとを考えてきました。ど

## 次の時代を見据えて

三方原スクエアでの挑戦

稲松 義人

うすることがよい意味で家庭的なのかについては、よく考えてみる必要はありますが、少なくとも二〇人とか三〇人が一緒に暮らすことは決して家庭的でないと考えてきました。ちょうど三〇年前に小羊学園から分かれて開設した成人施設「若樹学園（現在の支援センターわかぎ）」では、一〜三人で暮らす小舎制の建物を建てました。当時の障がい者施設としては大変珍しかったと聞いています。しかし、今回の設計では、一〜二人の居室でユニット五〜六人という居住空間になっています。生活単位としてはグループホーム、ケアホームと同じ生活です。ここ数年、自活訓練というかたちで地域ホームに移って、同じような生活を体験した方たちの表情から、誰もが施設での生活よりも少人数の暮らしを望んでいることを感じました。もちろん課題もたくさんありますが、生活空間としてはこれまでにない落ち着いた環境になるだろうと考えています。（つづく）

## 小羊学園の移転改築のためにさらなるご支援を

昨年来、小羊学園移転改築計画の困難をお聞きし、多くの皆さまにご支援をいただけてきたところです。目標額2億円のうちこれまでに約9千万円の協力が寄せられたということですが、建築工事は着々と進んでおり9月には竣工し、11月からは新しい施設へ移転して生活をする予定だということです。目標に到達しない不足分については、借入を増額して対応していくことになるため、できる限り目標額に近づけるように、重ねてご協力をお願いする次第です。

2008年 夏

小羊学園を支える会 代表代行 小林 眞  
 (日本基督教団遠州教会牧師)  
 小羊学園家族会 会長 田中清司

## 小羊学園移転計画

屋根と壁ができ、建物らしくなってきました



どうぞ、目標達成のために引き続き、お祈りください。皆さまの周囲で新たにご協力いただけそうな方をご紹介いただければ幸いです。今回も心からの感謝をもって中間報告をさせていただきます。



### 小羊学園・移転改築計画にご協力ください

(口座名義)「小羊学園を支える会」

郵便振替口座 00890-4-45415

りそな銀行浜松支店 (普通) 040005

静岡銀行細江支店 (普通) 043483

必要があれば、募金のお願い(振込用紙)を、お送りいたします。下記へご連絡ください。

問い合わせ先：小羊学園

〒431-1304 浜松市北区細江町中川 7440-1

電話 053-437-0826

## 編集後記

将来構想について話していると「それは理想論ではないか」とよく言われます。確かに現実をよく知ることは必要なことですが、理想をもたなければ私たちの仕事は前進しないと思っています。社会の経済的な基盤が弱くなり、社会福祉の後退が深刻な問題になっています。高齢者福祉も、障がい者福祉も、児童福祉も、新たな貧困の問題も大切なことです。しかし、経済的な側面だけではない社会福祉のあるべき姿を考えたいです。それは皆様も含めて市民全体で作っていくものだと思います。皆様のご健康をお祈りします。(一)